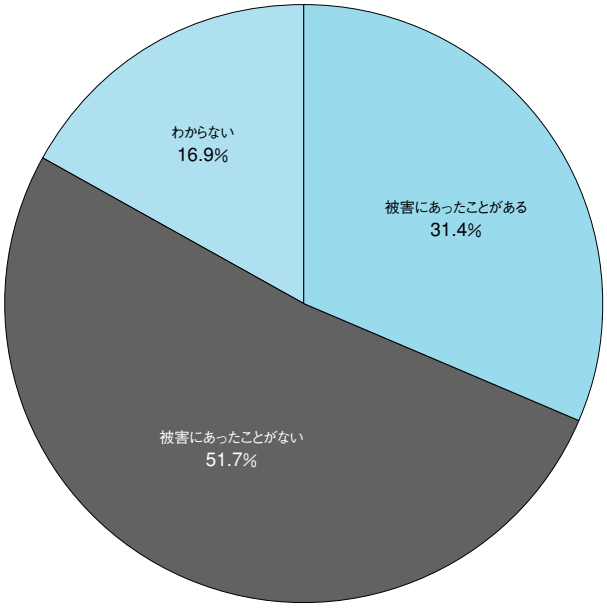
セキュリティ

セキュリティ被害を受けたことがあるのは31.4%

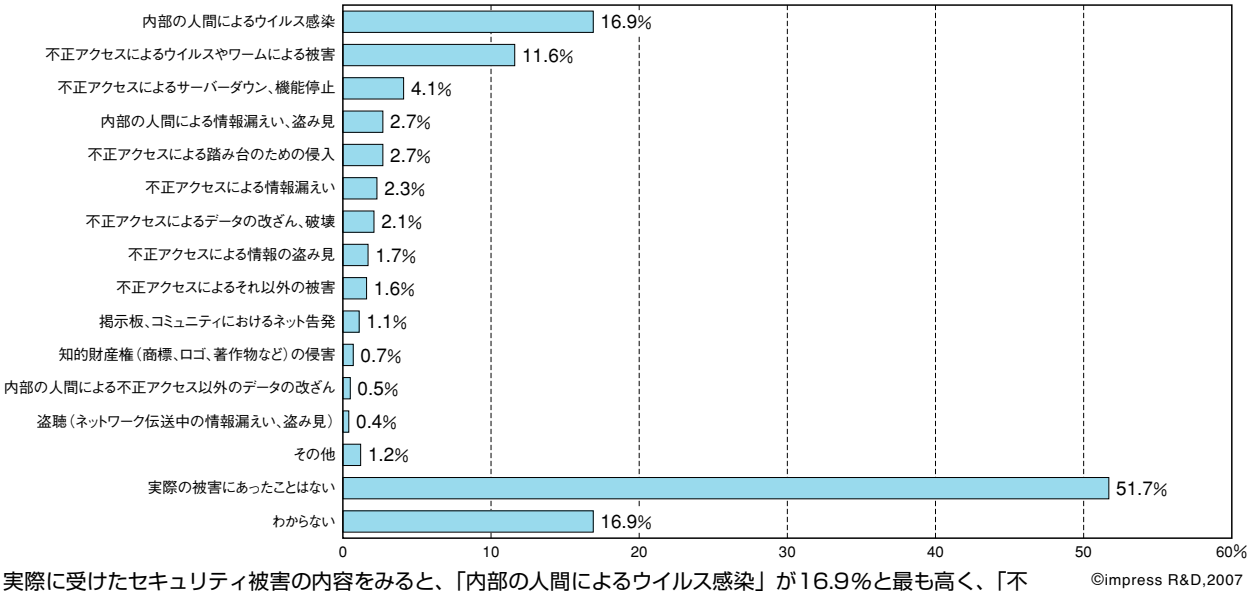
資料3-6-1　セキュリティ被害の有無　N=1,500



セキュリティ被害の有無をみると、「被害にあったことがない」が51.7%で、「被害にあったことがある」は31.4%である。個人情報の漏えいやウイルス感染などセキュリティに関する事件が続き、企業においてもセキュリティ対策を強化しているとみられる。

セキュリティ被害の上位は内部でのウイルス感染と不正アクセス

資料3-6-2　セキュリティ被害の内容（複数回答）　N=1,500



実際に受けたセキュリティ被害の内容をみると、「内部の人間によるウイルス感染」が16.9%と最も高く、「不正アクセスによるウイルスやワームによる被害」が11.6%と続く。

従業員規模が小さいほどセキュリティ被害の経験は低い

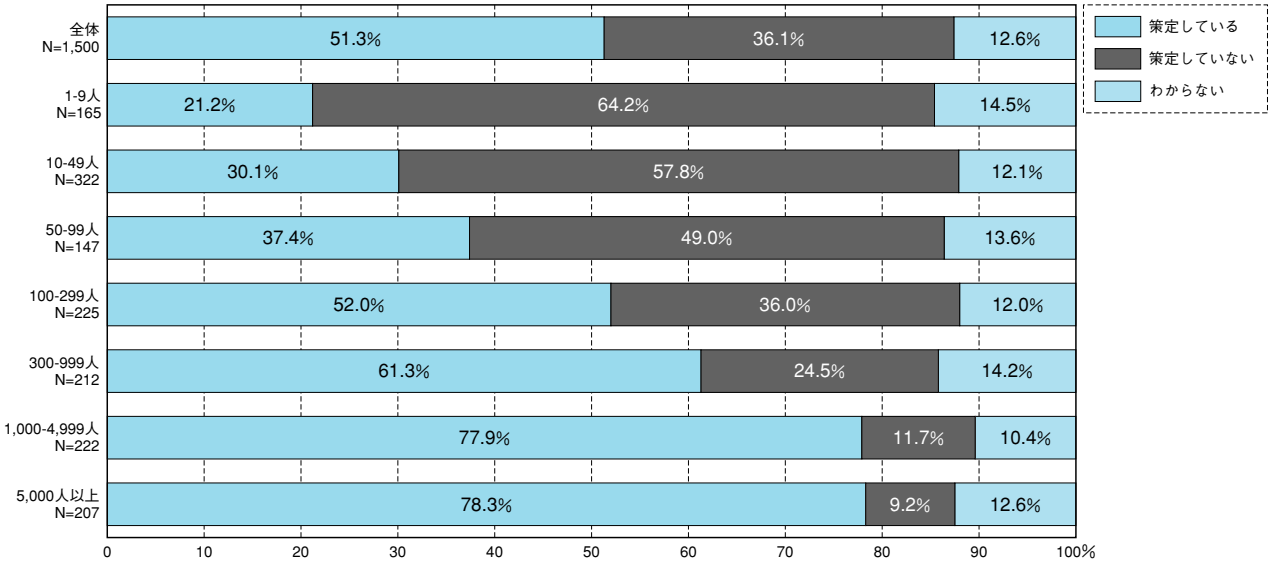
資料3-6-3　セキュリティ被害の内容（複数回答）［従業員規模別］

	全体 N=1,500	1-9人 N=165	10-49人 N=322	50-99人 N=147	100-299人 N=225	300-999人 N=212	1,000-4,999人 N=222	5,000人以上 N=207
不正アクセスによる情報漏えい	2.3%	0.0%	1.2%	0.7%	1.3%	2.4%	4.1%	5.8%
不正アクセスによるデータの改ざん、破壊	2.1%	0.0%	1.6%	0.7%	2.2%	2.4%	4.1%	3.4%
不正アクセスによる情報の盗み見	1.7%	0.6%	1.2%	0.0%	0.9%	3.3%	2.3%	2.9%
不正アクセスによるウイルスやワームによる被害	11.6%	4.8%	8.4%	12.2%	15.6%	14.2%	14.4%	11.6%
不正アクセスによるサーバーダウン、機能停止	4.1%	0.6%	3.4%	2.7%	4.0%	3.3%	6.8%	7.2%
不正アクセスによる踏み台のための侵入	2.7%	0.6%	1.9%	0.7%	3.6%	3.3%	4.5%	3.4%
不正アクセスによるそれ以外の被害	1.6%	1.2%	0.6%	0.7%	1.3%	3.3%	0.9%	3.4%
内部の人間によるウイルス感染	16.9%	5.5%	10.9%	16.3%	18.2%	19.8%	25.2%	22.2%
内部の人間による情報漏えい、盗み見	2.7%	0.0%	1.9%	0.7%	1.3%	3.3%	4.1%	7.2%
内部の人間による不正アクセス以外のデータの改ざん	0.5%	0.0%	0.3%	0.7%	0.4%	0.9%	0.9%	0.5%
掲示板、コミュニティにおけるネット告発	1.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.9%	1.9%	1.4%	2.9%
知的財産権（商標、ロゴ、著作物など）の侵害	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.9%	1.9%
盗聴（ネットワーク伝送中の情報漏えい、盗み見）	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	0.5%	1.0%
その他	1.2%	2.4%	1.6%	1.4%	0.4%	1.4%	1.4%	0.0%
実際の被害にあったことはない	51.7%	75.8%	66.5%	54.4%	50.7%	43.4%	33.8%	36.2%
わからない	16.9%	10.3%	11.2%	15.0%	14.2%	18.4%	24.3%	26.1%

従業員別にセキュリティ被害の内容をみると、従業員規模が小さいほどセキュリティ被害の経験は低い。社員数によってリスクが高まる「内部の人間によるウイルス感染」は従業員規模が大きいほど比率が高い。大企業では外部に対するセキュリティ対策がとられているためか「不正アクセスによるウイルスやワームによる被害」は中規模の企業で比率が高い。

51.3%がセキュリティポリシーを策定

資料3-6-4　セキュリティポリシーの策定有無［従業員規模別］

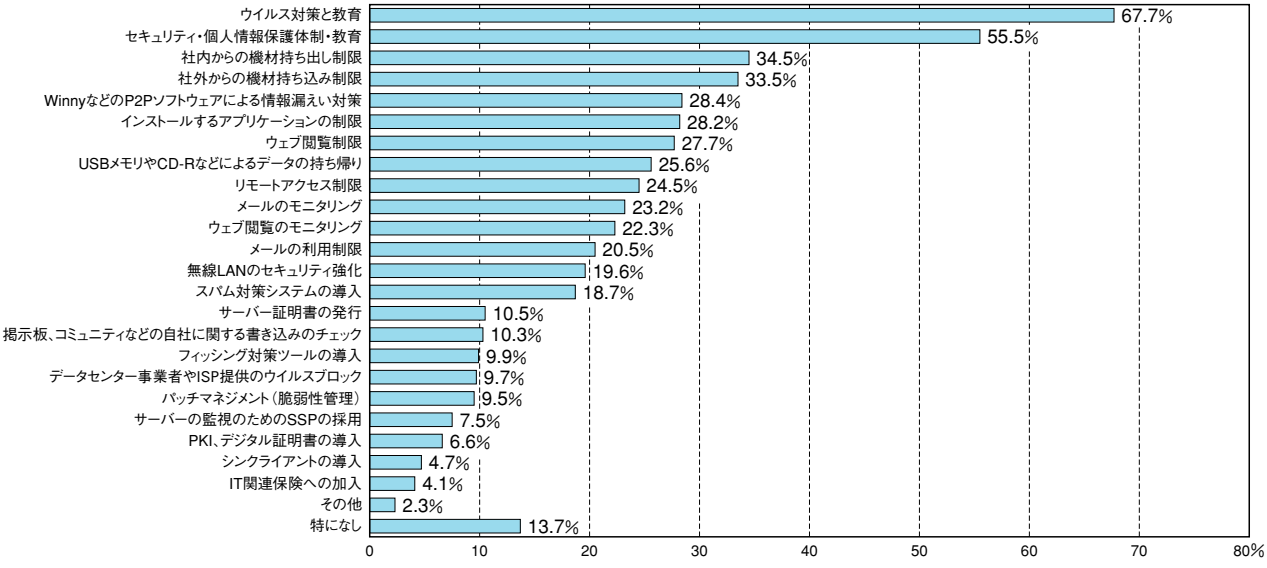


セキュリティポリシーの有無をみると、51.3%が策定しており、従業員規模が大きいほどその策定比率は高くなる。従業員規模が100人以上の企業から、策定している比率が策定していない比率を上回っている。

セキュリティ

「ウイルス対策と教育」への取り組みが

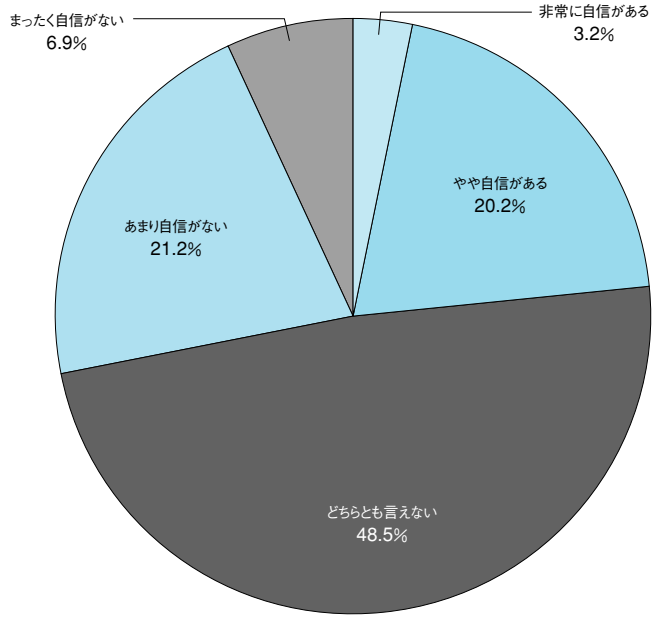
資料3-6-5　取り組んでいるセキュリティ対策（複数回答）　N=1,500



取り組んでいるセキュリティ対策は、「ウイルス対策と教育」が67.7%、「セキュリティ・個人情報保護体制・教育」の55.5%が上位2項目となっており、社員への教育を重視していることがわかる。次いで、機材持ち出しや持ち込みの制限の比率が高い。

28.1%がセキュリティ対策に自信がない

資料3-6-6　取り組んでいるセキュリティ対策の効果　N=1,500

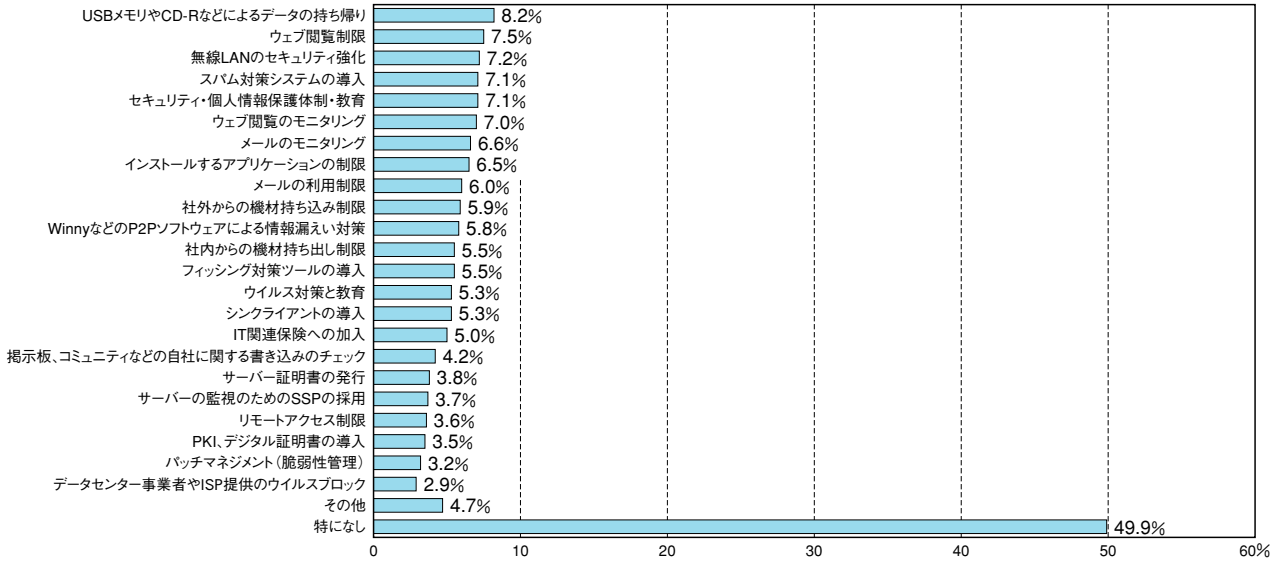


取り組んでいるセキュリティ対策の効果についてみると、「どちらとも言えない」が最も高く48.5%である。「あまり自信がない」「まったく自信がない」をあわせると28.1%となり、自信がある層の23.4%を上回っている。昨今続いているセキュリティ関連の事故などによって、対策をしつつも自信がない層の比率が高まっていると思われる。

セキュリティ

今後取り組む予定の対策はデータの持ち帰り禁止がトップ

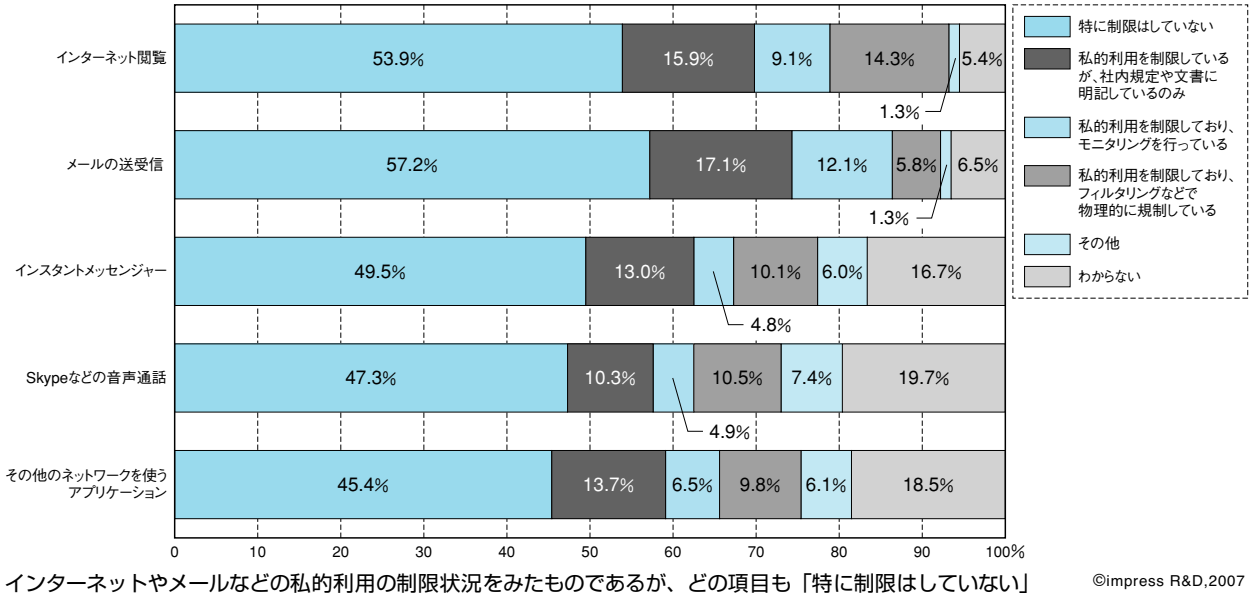
資料3-6-7　今後取り組む予定のセキュリティ対策（複数回答）　N=1,500



現在取り組んでいるセキュリティ対策以外で今後取り組む予定の対策を聞いたものである。トップは、「USBメモリやCD-Rなどによるデータの持ち帰り」の8.2%であり、盗難などによる個人情報の漏えいを防ぐ狙いがあるとみられる。一方で約半数は「特になし」と回答しており、追加して取り組む予定がない。

5割前後がインターネットやメールなどの私的利用を制限せず

資料3-6-8　インターネットやメールの私的利用の制限有無　N=1,500

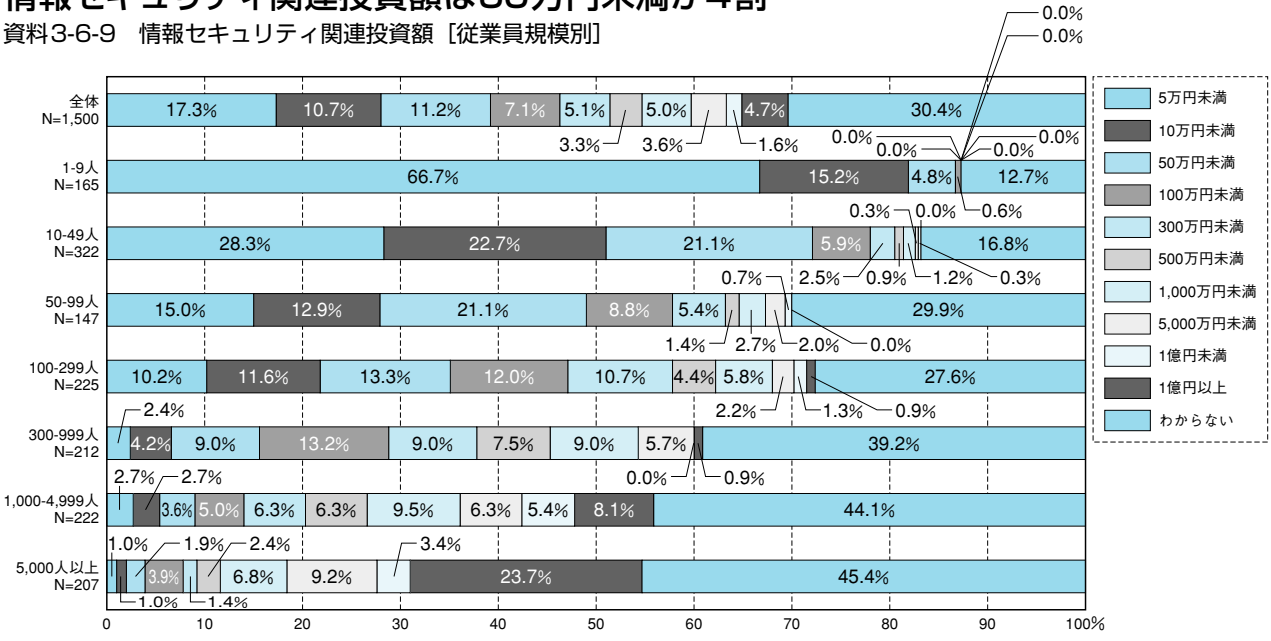


インターネットやメールなどの私的利用の制限状況をみたものであるが、どの項目も「特に制限はしていない」が5割前後となっている。制限しているものをみると、インターネットは39.3%、メールは35.0%と私的利用を制限している比率が高く、14.3%はインターネットに対し、フィルタリングなどで物理的な規制をかけている。

セキュリティ

情報セキュリティ関連投資額は50万円未満が4割

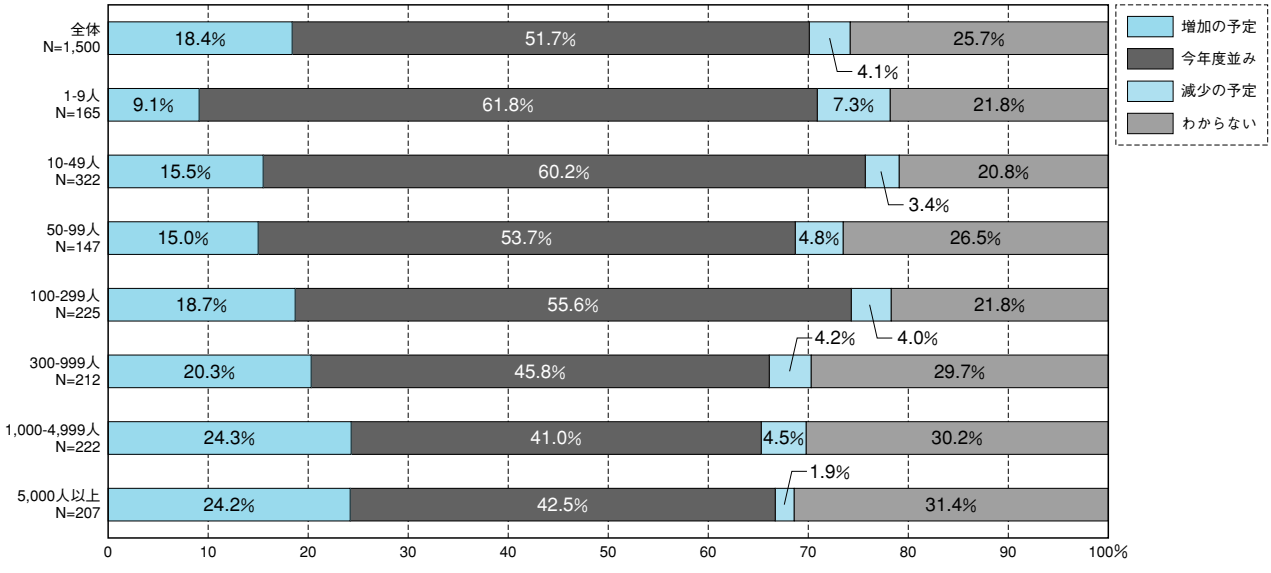
資料3-6-9　情報セキュリティ関連投資額［従業員規模別］



情報セキュリティ関連の投資額をみると、「5万円未満」が17.3%で最も高く、ついで「50万円未満」が11.2%となるなど、情報セキュリティ対策にはあまり費用をかけていないことがわかる。従業員規模では、9人以下の小規模な企業では、「5万円未満」が3分の2を占めるなど十分な費用をかけておらず、従業員規模が大きいほど投資額も大きくなる傾向にある。

次年度の情報セキュリティ関連投資額は増加の見込み

資料3-6-10　次年度の情報セキュリティ関連投資額増減見込み［従業員規模別］



次年度の情報セキュリティ関連投資額増減見込みをみると、51.7%が「今年度並み」を見込むが、「増加の予定」は18.4%と「減少の予定」の4.1%を大きく上回っている。従業員規模にみた場合、規模が大きいほど「増加の予定」の比率が高い。

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | ✉ iwp-info@impress.co.jp